

2（12）県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

縦・横6本の連携軸、福島空港、小名浜・相馬港の機能や情報通信基盤を強化する取組を進める。

（単位：千円）

①災害に強く信頼性の高い本県の復興を推進する道路ネットワークの構築

1 国道115号相馬福島道路事業の負担金（土木部 高速道路室） 5,580,000

被災地の早期の復旧・復興を図るため、国道115号相馬福島道路の整備を促進する。

2 道路整備事業（土木部 道路管理課、道路整備課、まちづくり推進課）19,860,700

東日本大震災等を踏まえ、災害に強い道路ネットワーク構築を実現するため、浜通りと中通りを結ぶ道路や津波被災地のまちづくり等を支援する道路の整備を推進する。

また、落石対策等を進め、防災機能の強化を図る。

3 緊急現道対策事業（土木部 道路管理課） 320,000

原発事故に起因する迂回交通による急激な交通量の増加等が生じている路線において、緊急的な現道対策を実施する。

②本県の物流、観光の復興を支える基盤の整備

新1 福島空港復興再生推進事業（観光交流局 空港交流課） 71,782

福島空港を復興させ、本県空の玄関口としての再生を図るため、国際定期路線の再開に資する支援・交流、空港のイメージアップ、防災拠点化等に係る事業を実施する。

2 小名浜港東港地区国際物流ターミナル整備事業（土木部 港湾課） 4,475,350

国際バルク戦略港湾に選定された小名浜港の取扱量の増大、船舶の大型化等に対応するため、国と共同で防波堤・岸壁・泊地・橋梁等の整備やふ頭の埋立造成を行う。

3 相馬港3号ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業（土木部 港湾課） 937,450

相馬港の取扱貨物量の増大、船舶の大型化に対応するため、国と共同で防波堤・岸壁・泊地・道路等の整備やふ頭の埋立造成を行う。

4 公共災害復旧費（港湾）（土木部 港湾課） 5,813,000

東日本大震災により被災した港湾施設等の復旧を行う。

③ JR常磐線・只見線の早期復旧

1 只見線復旧復興事業（生活環境部 生活交通課） 671,182

平成23年7月新潟・福島豪雨災害及び東日本大震災からのJR只見線の早期全線復旧に向け、復旧事業及び利活用促進事業を支援するための只見線復旧復興基金への積立を行うとともに、利活用促進のためのイベント等を実施する。

新(再掲) 災害学習列車・交流促進事業（生活環境部 生活交通課） 11,803

風評の払拭及び観光を核とした被災地の復興を図るため、県内外の子どもたちがJR只見線に乗りし地域の被災状況や復興に向けて取り組む姿を学ぶための各種事業を行う。

| | 事業数 | 事業費（千円） |
|------------|-----|------------|
| 本資料に掲載した事業 | 9 | 37,741,267 |
| その他の事業 | 5 | 3,475,564 |
| 合計 | 14 | 41,216,831 |

※事業数及び事業費とも再掲事業を含む